

3月の園だより



令和 2 年 3 月 1 日
さかえ保育園

今月の予定

1日(日)	
2日(月)	
3日(火)	ひな祭り 食材紹介(菜の花)
4日(水)	体操教室
5日(木)	新入園児面接 ポニー教室
6日(金)	卒園式練習 食育:枝豆のさやだし(つくし組)
7日(土)	
8日(日)	
9日(月)	英語教室 食育:食事マナー指導(幼児)
10日(火)	誕生会
11日(水)	体操教室
12日(木)	卒園式練習 食育:ごぼう洗い(たんぽぽ組)
13日(金)	
14日(土)	卒園式
15日(日)	
16日(月)	
17日(火)	食育:白衣の着脱(すみれ組)
18日(水)	体操教室(2・3・4歳)
19日(木)	乳児健診 食育:彼岸の話(幼児)
20日(祝日)	春分の日
21日(土)	
22日(日)	
23日(月)	
24日(火)	
25日(水)	体操教室(2・3・4歳) 食育:細切り(れんげ組)
26日(木)	
27日(金)	
28日(土)	
29日(日)	
30日(月)	
31日(火)	

いよいよ令和元年度最後の月になりました。今年は元号が変わり保育の給食制度も変わり保育料も変わり何かと変化の多い年度でした。その度に事務変更が行われ実質保育も見えないところで変化してまいりました。

かなり早い時期からインフルエンザが流行し神経質に予防に心がけてまいりましたが、ここに来て新型コロナウイルスによる肺炎の蔓延が懸念されています。1月の中旬以降、注意深く情報を収集し対応をまいりましたが、どうしても防ぎきれない事情もできてしまいます。2月には子ども達の発表会を開催すべきかどうか開催前日まで悩み検討し、苦慮した挙句諸々ご家族の方々にご協力いただいた上での開催となりました。

この件につきましては今後の流行度合いにもよりますが、場合によって行事を中止、延期という判断もしなければならぬ時もありそうです。政府、行政は、今回の新型肺炎の流行について極力冷静に判断するようファックスだけ流してきていますが、さかえ保育園といたしましては保護者の皆さんにご意見をいただきながら判断をさせていただきたいと考えています。

現在、新型コロナウイルスの流行について、毎日報道されておりみなさまも不安の中で過ごされていることと思います。さかえ保育園では、子ども達に咳エチケットや手の洗い方、うがいの奨励などの指導を行っております。もし、お子さまに発熱やだるさ、咳や息苦しさなどの症状がみえたら、お子様自身の健康のためまた他者への感染を防ぐため、無理をさせないようご配慮ください。そして政府の指針に従って受診してください。

お子様、ご家族が新型コロナウイルスに感染した場合は、保育園にご一報ください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

—園長—



給食より

＜春が旬の食材紹介＞

冬を越して暖かい春を迎えると、寒さで弱った体の調子を整える栄養素を体が欲し始めます。そのため、筋肉や血管を丈夫にするビタミンCをはじめとしたビタミン類、骨を強くするカルシウムなどのミネラルを豊富に含む春が旬の食べものをとると、「美味しい!」と感じると言われています。

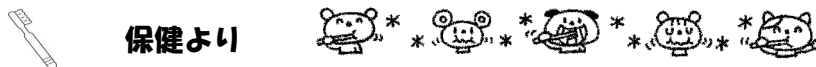
☆旬の野菜:春キャベツ、新玉葱、アスパラガス、菜の花、そら豆、グリーンピース、たけのこ等

☆旬の果物:いちご、柑橘類、キウイ等

☆旬の魚介類:鱈、さより、かつお、鯛、白魚、アサリ、わかめ等

春キャベツや新玉葱は柔らかく生食しやすいのでサラダにしても良いです。春野菜を使った炊き込みごはんや、春野菜とあさりの酒蒸し等もオススメです。

冬から春にかけての季節の変わり目は気温の変化が激しく、体調を崩しがちです。旬の食材を食べて元気に過ごしましょう。



保健より

＜3月3日は耳の日です＞

3月3日はみみの日です。最近咳や鼻汁の子ども達をよく見かけますが、そんな鼻汁もそのまましていると中耳炎の原因になってしまいます。では、中耳炎とはどんな病気でしょうか？

＜急性中耳炎＞

鼓膜の奥の中耳に細菌が入り炎症がおこる病気です。風邪が原因で起こることが多く、なかなか熱が下がらない、不機嫌でよく泣く、耳を痛がる、しきりに耳に手をやる等の症状がある場合は中耳炎を疑います。

○治療の注意点○

薬を勝手にやめないことです。完全に治さないと再発をしたり、「滲出性中耳炎」を起こす原因になります。

＜滲出性中耳炎＞

膜の奥にしみ出した液が溜りっぱなしになる病気です。そのままにしておくと難聴になる事もあります。熱や痛みはありません。耳の中のつまった感じや、聞こえが悪い等で気付きます。

○治療○

耳鼻科の治療は何週間も、場合によっては何か月も続きます。途中で治療をやめずに、完全に治るまで通院しましょう。

鼻と耳をつなぐ「耳管」という管は成長するにつれ複雑になりますが、子どもの時にはつながりやすい状態です。うまく鼻がかめないことで中耳炎を起こしやすくなります。色のついた鼻汁が出始めたら耳鼻科で早めに処置をすることも大切です。

☆今月の誕生児☆

